



Yomeishu



第96期 株主通信

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)



養命酒製造株式会社

証券コード：2540

経営理念

生活者の信頼に応え、
豊かな健康生活に貢献する

中期経営計画 基本方針

(平成24年4月～平成27年3月)

持続的成長に向けた
事業構造の变革

生活者の豊かな健康生活への
さらなる貢献を目指して



代表取締役社長

塩澤 太朗

平成26年6月

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。ここに、養命酒製造株式会社の第96期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)の営業の概況をご報告いたします。

第96期の業績の概要

当事業年度（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）におけるわが国経済は、政府による経済政策などを背景として、円安・株高が継続し、企業収益、雇用情勢や個人消費にも改善の傾向が見られ、景気は緩やかに回復しつつあるものの、消費税増税の影響や海外景気の減速に対する懸念等もあり、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の関連業界におきましても、業種業態を越えた企業間競争の激化が続き、生活防衛意識の高まりによる節約志向が続く厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、「養命酒」の効率的かつ効果的な販売促進活動により、「養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築」に努めました。この収益基盤に基づき「持続的成長に向けた事業構造の変革」を基本方針とする中期経営計画の2年目として、「美容と健康」をテーマとした新商品「食べる前のうるる酢」や「フルーツとハーブのお酒」を発売するなど「新規事業領域の拡大と成長性の確保」の各施策に取り組みました。また、「保有資産の見直しと積極的な活用」及び「社会的使命への取組み」の施策の一環として、埼玉県鶴ヶ島市に「鶴ヶ島太陽光発電所」を開設し、鶴ヶ島市と共同して、環境教育と災害時対応の機能を有した施設「eコラボ(エコラボ)つるがしま」を併設しました。

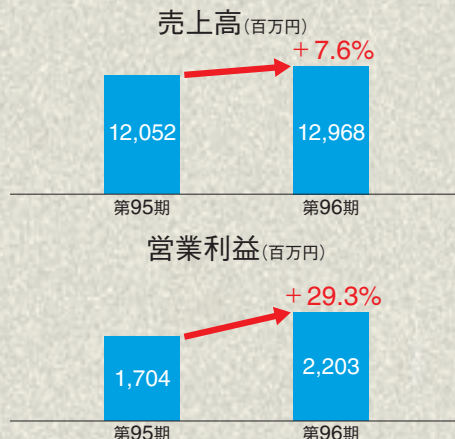
また、当社グループにおける経営の効率化及び保有資産の有効活用を図るため、平成25年12月に、当社の100%子会社であるヤマツル株式会社を吸収合併いたしました。

当事業年度の業績は、「養命酒」の売上が堅調に推移したこと及び新商品等の売上が寄与し、売上高は12,968百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は2,203百万円（前年同期比29.3%増）、経常利益は2,447百万円（前年同期比26.4%増）となりました。当期純利益につきましては、「くらすわ」の「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく減損損失628百万円等の特別損失736百万円を計上する一方、ヤマツル株式会社吸収合併に伴う抱合せ株消滅差益732百万円等の特別利益734百万円を計上し、1,650百万円（前年同期比32.8%増）と増収増益となりました。

中期経営計画 主要戦略

- 養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築
 - ・「養命酒」の効率的効果的販売促進活動による収益構造の一層の改善
- 新規事業領域の拡大と成長性の確保
 - ・平成25年6月発売
「食べる前のうるる酢 スパークリング」
「檸檬とハーブのお酒」
「林檎とハーブのお酒」
 - ・平成25年7月「鶴ヶ島太陽光発電所」稼働
 - ・平成26年3月発売
「食べる前のうるる酢 ビューティー」
 - ・平成26年3月販売開始
「白桃とハーブのお酒」
「フルーツとハーブのお酒」スパークリング3種

- 「養命酒」の売上が堅調
- 新商品等の売上が寄与
- 売上高 前年同期比 7.6%増
- 営業利益 前年同期比 29.3%増



養命酒関連事業

「養命酒」の売上に「ハーブのお酒」、「食べる前のうるる酢」、「家醸本みりん」、「ミネラルウォーター」、「ドリンク剤」、「サプリメント類」の売上进行合算いたしまして、養命酒関連事業の売上高は12,375百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

◆ 養命酒

「養命酒」につきましては、安定的な販売を堅持するため、効果的な販売促進活動に努めました。「女は7の倍数、男は8の倍数」の節目年齢における養生を訴求するとともに、「胃腸の疲れ」と「ストレス」や「冷え」と「寝付き」をテーマとしたテレビスポット広告を季節に合わせてエリア毎に順次実施したことに加え、プレゼントキャンペーン、雑誌とのタイアップ広告、首都圏における交通広告、ラジオ広告等を実施しました。また、広告に連動して店頭における販売促進活動を展開しました。これらの広告や販売促進活動においては、ターゲット層の幅を広げ、若年層や男性に向けた訴求を行うなど、新たな顧客の獲得に注力しました。



©さいとう・たかを/ライド社

◆ 新商品関連

「食べる前のうるる酢」につきましては、平成25年6月に「食べる前のうるる酢スパークリング」を関東1都6県のコンビニエンスストアで発売し、認知度を高めるためのテレビスポット広告、雑誌、交通広告等による訴求を実施したことに加えて、店頭やウェブでのプレゼントキャンペーン、ターゲット層に向けたサンプリングによる販売促進活動を実施しました。また、平成26年3月に「食べる前のうるる酢ビューティー」をスーパーマーケットやコンビニエンスストアで発売し、テレビスポット広告を実施しました。「ハーブのお酒」につきましては、「ハーブの恵み」に加え、平成25年6月に「檸檬とハーブのお酒」と「林檎とハーブのお酒」を発売、平成26年3月に「白桃とハーブのお酒」とスパークリングタイプのお酒3種類を販売開始し、小売店の取扱い店舗数の拡大に努めるとともに、ラインナップの拡充による企画提案や店頭における露出向上、メインとなる女性顧客層に対する試飲会の実施やイベントへの参加、ウェブキャンペーン等の販売促進活動を実施しました。



◆ 海外での取組み

海外におきましては、東南アジア諸国を中心として各国の市場環境に即したマーケティング活動に取り組みました。「養命酒」の理解と知名度の向上を目指し、各国に合わせた訴求テーマに基づき、プレゼントキャンペーンや店頭陳列の強化等の販売促進活動に取り組むとともに、「養命酒」以外の商品のテスト販売や現地需要の調査など輸出領域の拡大に向けた各施策を実施しました。

◆ Yomeishuオンラインショップ

インターネット通信販売サイト「Yomeishuオンラインショップ」につきましては、取扱品目を拡充し、「養命酒」の顧客への案内や「養命酒健康の森」、「くらすわ」への来場者に向けた紹介、販売促進キャンペーンの実施により、好調に推移しました。



キャンペーン情報

「食べる前のうるる酢ビューティ」新発売 **送料無料**

お試し10本セット1500円(税込)

ケースは **10%OFF** (18本入り)

詳しくはこちら

Yomeishuオンラインショップ

施設運営事業

◆ 「くらすわ」「養命酒健康の森」

「くらすわ」につきましては、開業3周年イベントを始めとして各種イベントの開催により集客に努め、長野県の地元産品の取扱拡充や、首都圏を始めとした催事出店、ランチメニューの充実、年末の贈答商品の重点販売などに取り組みました。各施策による地元のお客様の定着や知名度の向上もあり、前年同期と比較し売上は堅調に推移しました。また、駒ヶ根工場見学施設「養命酒健康の森」につきましては、来場者数、売上ともに堅調に推移しました。以上の結果、「くらすわ」、「養命酒健康の森」の売上を合算し、施設運営事業の売上高は412百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

その他

◆ 「不動産賃貸事業」「太陽光発電事業」

不動産賃貸と平成25年7月に稼働した鶴ヶ島太陽光発電所の売上を合算し、売上高は179百万円（前年同期比105.2%増）となりました。

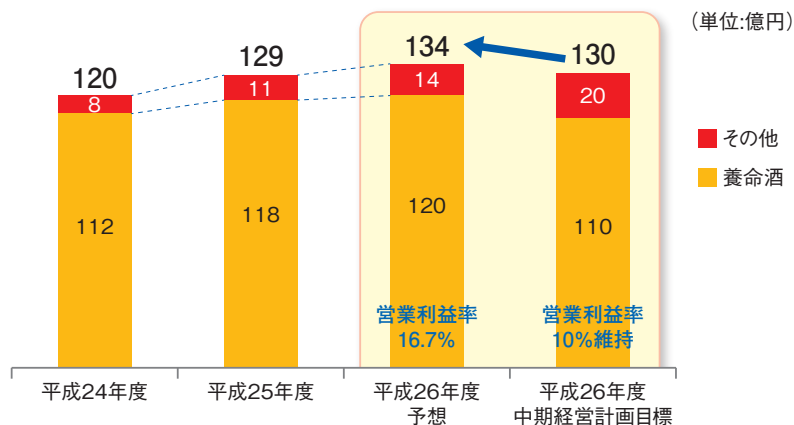
株主の皆様へメッセージ

今後の取組みにつきましては、中期経営計画の最終年度としてその目標達成に向けて、「美容と健康」への関心の高い生活者の皆様に向けた商品の拡充、「くらすわ」における商品の拡充と顧客ニーズの把握、輸出領域の拡大に向けた海外事業の推進等により、新規事業領域の拡大と成長性の確保を推進し、これらの施策に必要な投資を積極的に行い、「養命酒」以外の売上高の拡大を図ってまいります。

また、コア商品「養命酒」の安定的な販売を堅持するため、効率的効果的な販売促進活動に努め、収益構造の一層の改善を行うとともに、原材料の安定的確保に取り組み、養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画の進捗と平成26年度数値目標



当社は、中期経営計画の数値目標として、最終年度である平成26年度において売上高130億円以上（「養命酒」110億円、「その他」20億円）、営業利益率10%の維持を目指してまいりました。

現段階での平成26年度の業績予想は売上高134億円（「養命酒」120億円、「その他」14億円）、営業利益率16.7%を見込んでおり、目標達成に向けて取り組んでまいります。

また、今後も「新規事業領域の拡大と成長性の確保」に積極的に取り組んでまいります。

CSR活動

「鶴ヶ島太陽光発電所」に併設した、「eコラボつるがしま」についてご紹介いたします。

この施設は、鶴ヶ島市と共同して併設したもので、環境教育や災害時対応の機能を有した施設です。

「エネルギーと地球環境問題、防災を考える」をコンセプトに、小・中学生を中心とした皆様が、再生可能エネルギーや地球環境問題を学習する場として活用しております。

また、災害時には地域住民の皆様が利用できるよう、非常用電源設備と、太陽光発電による電気自動車への充電設備、非常用浄水設備を備えた井戸等を整備し、災害時対応の機能も有しています。

この施設を有効活用することにより、地域社会への貢献を図ってまいります。

eコラボつるがしま



Photo Takumi Ota

「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という当社の経営理念を実現する施策の一つとして、「美容」と「健康」に着目した新商品を発売いたしました。

「食べる前のうるる酢 ビューティー」

美容系飲料として、「食べる前のうるる酢 ビューティー」を平成26年3月に関東1都6県のスーパーマーケット、コンビニエンスストアにおいて新発売いたしました。

この商品は、女性のキレイをサポートする商品として平成25年6月からコンビニエンスストア向けに販売している「食べる前のうるる酢 スパークリング」に続く、第2弾の美容系飲料です。



参考小売価格：1本139円（税別）

製品特長

お酢をベースに、「AGハーブMIX™」と「難消化性デキストリン（レタス約1個分の食物繊維）」、さらにビタミンC、ビタミンB₆、ヒアルロン酸を追加した女性のキレイをサポートする美容系飲料です。糖類を加えず、低カロリーにこだわりました。（1本125mlあたり9kcal）

フレーバーは「アセロラ&キウイ」（写真左）と「ゆず&レモン」（写真右）の2種類です。炭酸を加えず、すっきりとした味わいをお楽しみいただける飲み口に仕上げました。

「白桃とハーブのお酒」 「フルーツとハーブのお酒 スパークリング」



「フルーツとハーブのお酒」

希望小売価格：1本380円（税別）

「フルーツとハーブのお酒 スパークリング」

希望小売価格：1本170円（税別）

製品特長

・『白桃とハーブのお酒』（写真左）

クコの実、ローズマリー、紅花、ハトムギ、甜杏仁を使用し、「うるおい・温める・保つ」の3つの恵みをフレッシュな白桃の香りと甘みでおいしく仕上げた「フルーツとハーブのお酒」です。

・『檸檬とハーブのお酒 スパークリング』（写真中央左）

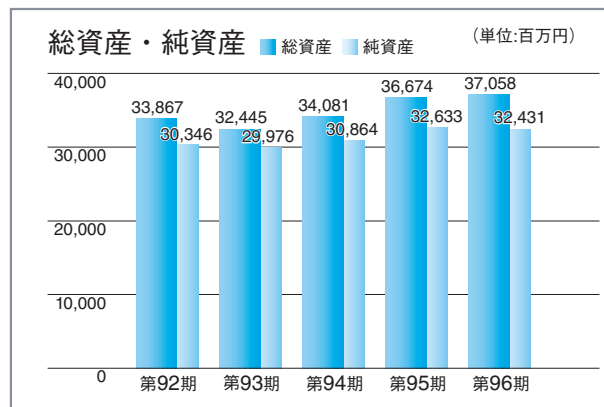
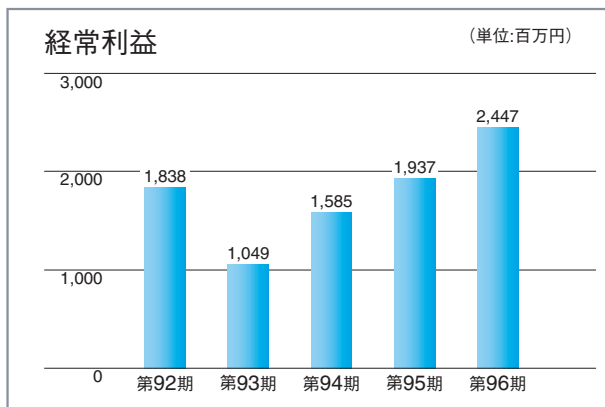
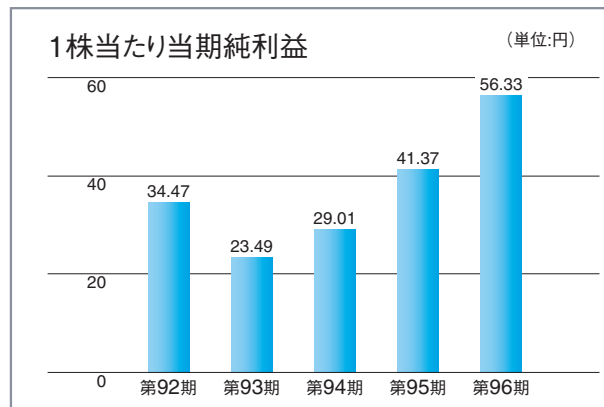
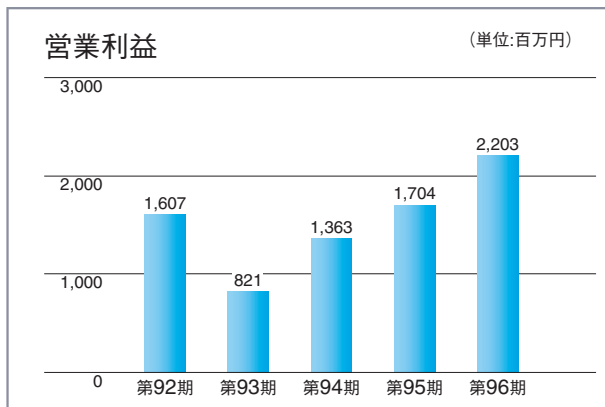
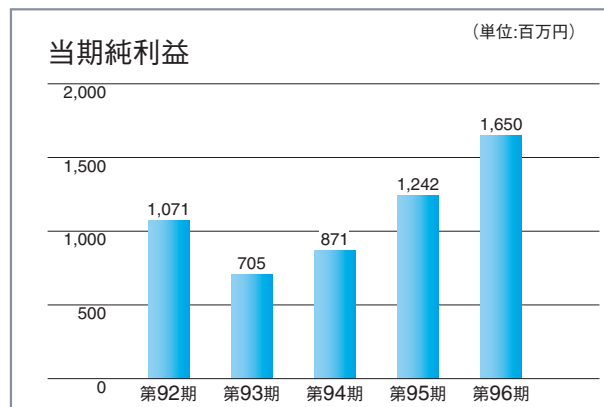
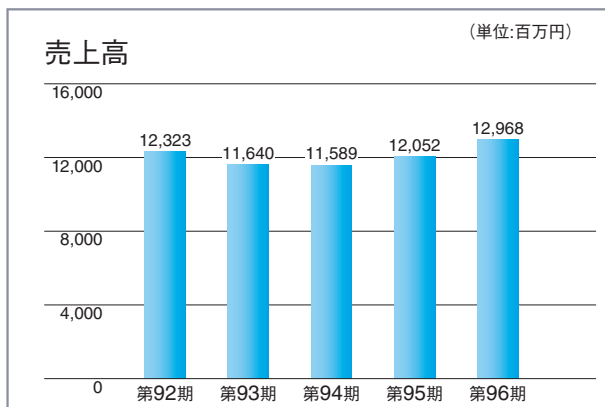
爽やかなレモネード風味の「檸檬とハーブのお酒」をベースに、ビタミンC1000mgをプラスしました。ぴりっとした後味の、すっきりとした味わいです。

・『林檎とハーブのお酒 スパークリング』（写真中央右）

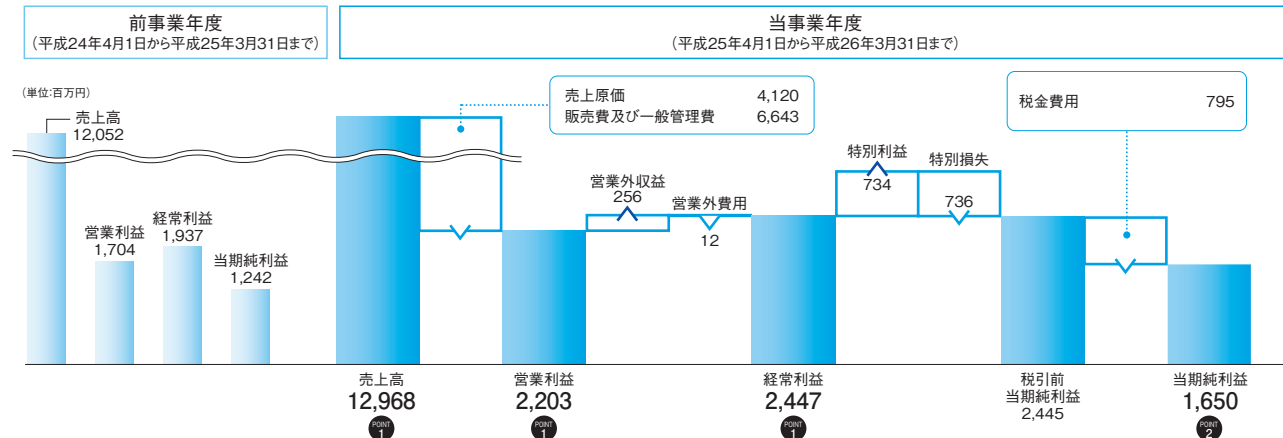
アップルパイ風味の「林檎とハーブのお酒」をベースに、食物繊維5000mgをプラスしました。シナモンが香るスイートな味わいです。

・『白桃とハーブのお酒 スパークリング』（写真右）

もぎたての白桃香る「白桃とハーブのお酒」をベースに、ヒアルロン酸10mgをプラスしました。ジューシーな果実味あふれる味わいです。



損益計算書の概要



POINT 1

売上高／営業利益／経常利益

「養命酒」の売上が堅調に推移したこと及び新商品等の売上が寄与し、売上高は12,968百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は2,203百万円（前年同期比29.3%増）、経常利益は2,447百万円（前年同期比26.4%増）となりました。

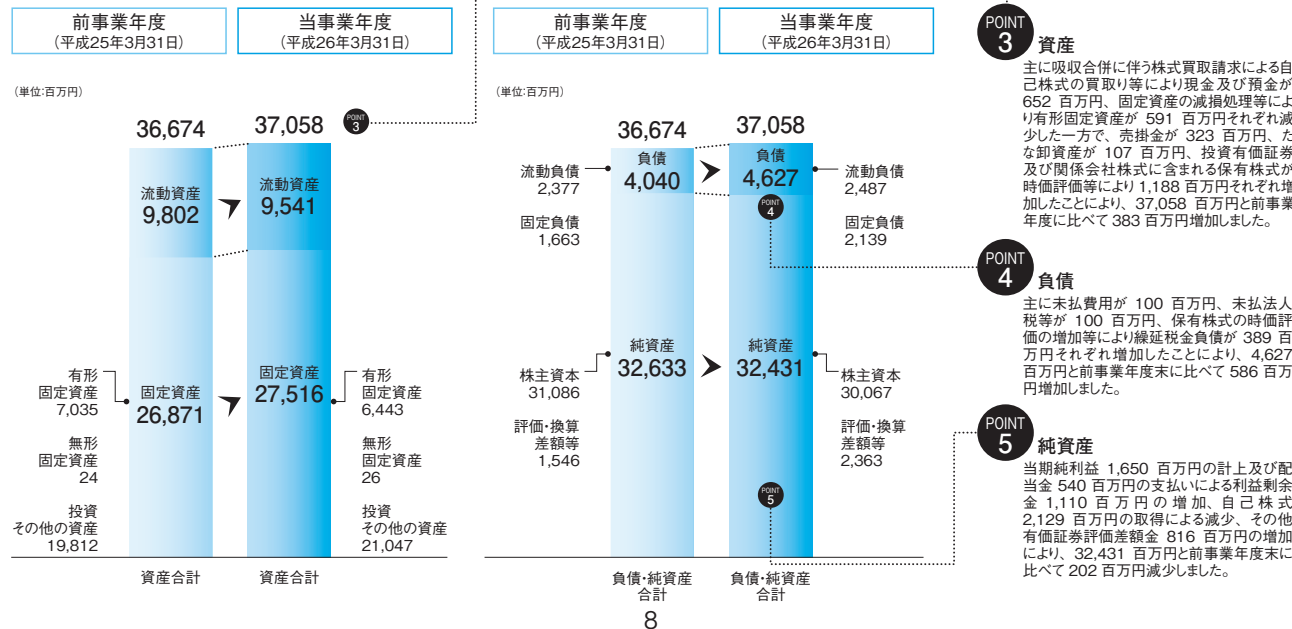
POINT 2

当期純利益

「くらすわ」の「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく減損損失628百万円^(※1)等の特別損失736百万円を計上する一方、ヤマツル株式会社吸収合併に伴う抱合せ株式消滅差益732百万円等の特別利益734百万円を計上し、1,650百万円（前年同期比32.8%増）となりました。

(※1) 商業施設「くらすわ」の減損損失
商業施設「くらすわ」につきましては、当事業年度においてキャッシュ・フローの黒字化を目指してまいりました。しかしながら、「くらすわ」の繁忙期である夏場を終えた第2四半期累計期間の進捗から、当事業年度の計画達成が困難な見込みとなり、今後も収益改善には時間を要すると判断したことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（628百万円）として特別損失に計上しております。

貸借対照表の概要



POINT 3

資産

主に吸収合併に伴う株式買取請求による自己株式の買取等により現金及び預金が652百万円、固定資産の減損処理等により有形固定資産が591百万円それぞれ減少した一方で、売掛金が323百万円、たな卸資産が107百万円、投資有価証券及び関係会社株式に含まれる保有株式が時価評価等により1,188百万円それぞれ増加したことにより、37,058百万円と前事業年度に比べて383百万円増加しました。

POINT 4

負債

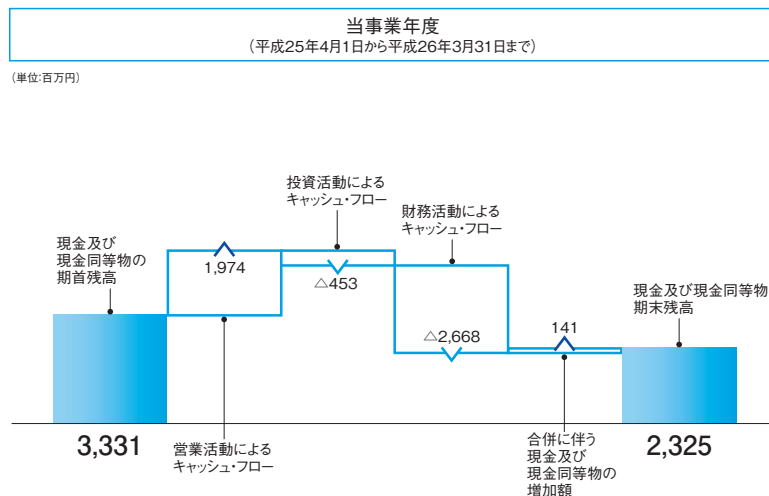
主に未払費用が100百万円、未払法人税等が100百万円、保有株式の時価評価の増加等により繰延税金負債が389百万円それぞれ増加したことにより、4,627百万円と前事業年度末に比べて586百万円増加しました。

POINT 5

純資産

当期純利益1,650百万円の計上及び配当金540百万円の支払いによる利益剰余金1,110百万円の増加、自己株式2,129百万円の取得による減少、その他有価証券評価差額金816百万円の増加により、32,431百万円と前事業年度末に比べて202百万円減少しました。

》キャッシュ・フロー計算書の概要



POINT
6

キャッシュ・フロー

営業活動の結果増加した資金は、1,974百万円（前年同期比3.1%増）となりました。これは主に税引前当期純利益2,445百万円、減価償却費495百万円等の増加要因と、売上債権の増加額312百万円、法人税等の支払額699百万円等の減少要因によるものです。

投資活動の結果減少した資金は、453百万円（前年同期比71.8%減）となりました。これは主に定期預金の純減による収入300百万円、有形固定資産の取得による支出656百万円によるものです。

財務活動の結果減少した資金は、2,668百万円（前年同期比393.7%増）となりました。これは自己株式の取得による支出2,129百万円、配当金の支払額539百万円によるものです。

当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ1,006百万円減少し、2,325百万円となりました。なお、当社の100%子会社であるヤマト株式会社を吸収合併したことにより、現金及び現金同等物を141百万円受け入れております。

会社概要

(平成26年6月27日現在)

社名	養命酒製造株式会社 YOMEISHU SEIZO CO., LTD.
本店所在地	〒150-8563 東京都渋谷区南平台町16番25号 電話 03-3462-8111 FAX 03-3462-8340 URL http://www.yomeishu.co.jp/
事業所	大阪支店、駒ヶ根工場、商品開発センター くらすわ、鶴ヶ島太陽光発電所
設立	大正12年（1923年）6月20日
資本金	16億5,000万円
上場	東証市場第1部、名証市場第1部
事業内容	養命酒、酒類及び医薬品等の製造・販売 飲食店及び売店の経営 不動産の賃貸 自然エネルギー等による発電事業及び電気の供給、販売等に関する業務
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	271名（平成26年3月31日現在）

(平成26年6月27日現在)

役員	代表取締役会長	川村 昌平
	代表取締役社長	塩澤 太朗
	専務取締役執行役員	田中英雄
	常務取締役執行役員	吉松 敬雄
	常務取締役執行役員	神林 敬
	取締役執行役員	大森 勉
	取締役執行役員	清水 政明
	取締役執行役員	丸山 明彦
	取締役執行役員	宮下 克彦
	取締役	白井 汪芳
	常勤監査役	中川 博之
常勤監査役	宮下 久宜	
監査役	笠原 孟	
監査役	斉藤 隆	

※1 社外取締役であります。

※2 社外監査役であります。

■ 上位10名の株主（平成26年3月31日現在）

株主名	持株数
大正製薬ホールディングス株式会社	6,600千株
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,487
株式会社八十二銀行	1,300
トーア再保険株式会社	1,096
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	691
大同生命保険株式会社	603
株式会社三井住友銀行	529
藤澤玄雄	450
キッコーマン株式会社	442
株式会社十八銀行	423

（注）当社は、自己株式を5,596千株保有しておりますが、上記上位10名の株主からは除外しております。

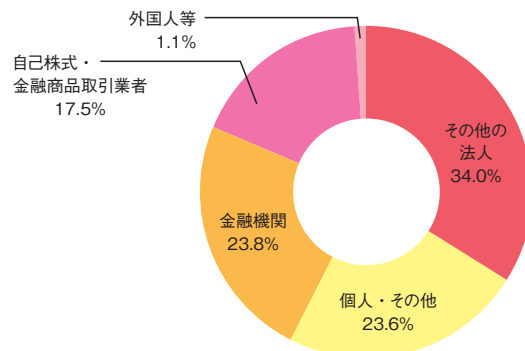
■ 株主メモ

証券コード	2540
一単元の株式数	1,000株
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
同総会基準日	毎年3月31日
配当金受領株主確定日	毎年3月31日
株主名簿管理人	
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）
公告掲載方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.yomeishu.co.jp/ ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

■ 株式の状況（平成26年3月31日現在）

発行可能株式総数	132,000,000株
発行済株式の総数	33,000,000株
株主数	3,067名

■ 所有者別株式分布状況（平成26年3月31日現在）



■ 株式に関するお手続きについて

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、買取請求その他各種お手続き	<ul style="list-style-type: none"> ● 証券会社の口座に当社株式が記録されている株主様 口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ります。 ● 特別口座に当社株式が記録されている株主様 左記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ願います。
未受領配当金のお支払い	三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。



養命酒製造株式会社
東京都渋谷区南平台町16番25号
TEL : 03-3462-8111 (代表) FAX : 03-3462-8340